

地元産業界等と連携した実践的 PBL を含む授業

【授業科目】

障がい者スポーツ実践演習Ⅱ

【連携している地元産業界等の組織名称】

沖縄県障がい者スポーツ協会

(2021年10月に包括連携協定を締結)

【当該授業等を実施する学部・学科】

人文学部 福祉文化学科 スポーツ福祉専攻

【当該授業等を開講する目的】

障がい者スポーツ指導に関して、日本や沖縄の現状と社会的課題を理解し、その課題に対応する施策を創出する力を身につけることを目的とする。沖縄県内で活躍する指導員の方々を外部講師に迎え、沖縄県内の障がい者スポーツに関する課題を学習し、学習した課題に対応したイベントを学生が企画し、実践する。

【当該授業等の具体的な内容】

- ◆ 障がい者スポーツに関する課題の学習
 - ・沖縄の障がい者スポーツ振興
 - ・障がい者スポーツクラブの運営
 - ・県内の教育現場における課題
 - ・県内の競技団体における課題
 - ・県内のアスリート養成に関する課題
 - ・課題の整理、対策の検討
- ◆ 障がい者スポーツに関する課題に対応したイベントの企画・実践
 - ・イベント立案、計画の作成、概要の検討
 - ・イベントモデルの実践的学習
 - ・イベントプログラムの作成
 - ・イベント振興に関する役割分担の検討
 - ・イベント準備、リハーサル
 - ・イベント実践
- ◆ 障がい者スポーツの実践事例
 - ・[障がい者スポーツ教室（車いすサッカー）：2023年8月15日](#)